

澤谷 由子 (さわや・ゆうこ)

〈制作コメント〉

私はあとどれくらい生きて、どれくらいの作品を残せるのか。妙な焦りと不安から解き放たれて、誘われるように無限の時間の中に溺れに行く。焼き物という、自分がいなくなっても残り続けるモノとしての強さと、自分の名を入れてこの世に残す事への責任が装飾という方法で私を執着させるのかもしれない。満足する事は無くとも、明日もまた土をこねくり回して、机にかじりつく事ができると信じて。



陶歴

1989年 横手市(秋田県)に生まれる
2012年 岩手大学教育学部芸術文化課程造形コース卒業
2014年 上越教育大学大学院学校教育研究科芸術系コース修了
金沢卯辰山工芸工房入所
2016年 個展「澤谷由子展—雪糸紡—」(Parque/東京)
平成27年度岩手県美術選奨
2017年 金沢卯辰山工芸工房修了
Asia Contemporary Art Show (Conrad Hong Kong/香港)
2018年 個展(アートサロン山木/大阪)
個展「まじなう絲」(緑煌/石川)
2020年 個展「いろづく絲」(緑煌/石川)
2021年 個展「澤谷由子展—おりなす絲—」(ギャラリー数寄/愛知)
個展「澤谷由子展—Her Patterns for Solemnity—」(ギャラリー器館/京都)
2022年 個展「澤谷由子陶展—露の絲—」(日本橋三越本店/東京)
現在 石川県能美市在住

橋本 知成 (はしもと・ともなり)

〈制作コメント〉

幼いころ夢中だった折り紙やプラモデルに寺社仏閣。彫刻家の父が作る等身の石膏像やブロンズ像を日々目にしてきました。家の窓から見える庭の草木や、その奥に広がる山々、車窓からの移りゆくランドスケープを見ることが好きでした。こういった幼少期からの経験が制作の背景にあります。仕事に対する姿勢として、個人的な考えや思いとの距離感を意識しながら、それでも残る作家の熱量が感じられるものを作りたいと思っています。数字では計算できない揺らぎ、ものの佇まいや存在を取り巻く環境を大切にしています。



photo: Gentoku Katakura

陶歴

1990年 湯浅町(和歌山県)に生まれる
2017年 金沢美術工芸大学大学院博士後期課程工芸研究領域陶磁分野修了
2019年 Korean International Ceramic Biennale 2019(Icheon World Ceramic Center/韓国)
TOKYO CRAFT ART BREWING in Shibuya (渋谷/東京)
LOEWE FOUNDATION Craft Prize 2019(草月プラザ/東京)
個展「Works」(Giant Year Gallery/香港)
2020年 IHNN 2021 SPRING/SUMMER RUNWAY “The boundary between Daily and out of Daily” (渋谷ヒカリエ/東京)
Ceramics Touch on Islands (TOUCH Ceramics/香港)
Japanese Wonder (Erskine, Hall & Coe/イギリス)
COLLECT 2020 (Somerset House/イギリス)
2021年 Design Miami (Miami Beach Convention Center/アメリカ)
Salon Art + Design (Park Avenue Armory/アメリカ)
個展「橋本知成展」(祇をん小西/京都)
ARTEFACT (Design Centre, Chelsea Harbour/イギリス)
アートフェア東京(東京国際フォーラム)
現在 滋賀県甲賀市在住

田中 悠 (たなか・ゆう)

〈制作コメント〉

私は陶の造形作品の中に生まれる空間に興味を持ち、その空間を感じさせることをテーマに作品を制作してきました。現在の作品であるtsutsumimonoもその一つです。布はシンプルなモチーフですが、そこに包むという要素が加わることで布は立ち上がり包まれた物の形に沿って柔らかなドレープが生まれます。その形の面白さや美しさを読み解き、どのように作品へと繋げるかが難しくもあり面白くも感じています。



陶歴

1989年 松山市(愛媛県)に生まれる
2013年 京都嵯峨芸術大学工芸領域陶芸分野卒業
2015年 第49回女流陶芸公募展 女流陶芸大賞(京都市美術館)
2017年 個展(ギャラリー白/大阪)(同'21)
個展(京都高島屋)(同'19)
2018年 BIWAKOピエンナーレ(近江八幡市旧市街/滋賀)(同'20)
2019年 開廊20周年企画「好きなかたち展 増殖と装飾」(ギャラリー数寄/愛知)
2019金沢・世界工芸コンペティション(金沢21世紀美術館/石川)
「以美為用展—明日へのとびら—」(京都高島屋)
2020年 個展「interiors」(Joan B Mirviss LTD/アメリカ)
個展「tsutsumimono」(日本橋高島屋/東京)
第61回ファエンツァ国際陶芸展(イタリア)
2021年 「陶×藝×術」(FEI ART MUSEUM YOKOHAMA/神奈川)
「MIMESIS」(Mulan Gallery/シンガポール)
現在 京都府京都市在住

堀 貴春 (ほり・たかはる)

〈制作コメント〉

本物には今まで積み重ねてきた進化という「背景」があるからこそ形や色が美しいのであり、いくら外見を忠実に模刻、スキャンしてもそれと同じレベルに並ぶこともなければ、上回ることもない。だからこそ私は昆虫に惹かれる部分を強調させ新たな形、何億年後の進化の形として再構成することで本物が持つ「背景」を超える形を作る挑戦をしています。



photo: nagisa shirai

陶歴

1996年 東京都に生まれる
2015年 四日市萬古陶磁器コンペ 優秀賞
第68回瀬戸市美術展 市長賞
2016年 愛知県立瀬戸窯業高等学校専攻科修了
2017年 Asia Contemporary Art Show (Conrad Hong Kong/香港)
2018年 アートフェア東京(東京国際フォーラム)
Singapore Contemporary “A WORLD OF ART” (Suntec Singapore Convention & Exhibition Centre/シンガポール)
第74回金沢市工芸展 金沢市長最優秀賞
個展「動き出す白」(ギャラリーDiEGO/東京)(同'20)
2019年 金沢卯辰山工芸工房修了
個展「堀貴春の世界」(福屋/広島)
第27回テーブルウェア大賞 大賞・経済産業大臣賞
2021年 個展「白磁昆虫の世界」(日本橋三越本店/東京)
個展「堀貴春展」(ギャラリー数寄/愛知)
「3店舗同時個展・TAKAHARU HORI」(THE SHOPHOUSE, Wild Wander HK, 静月 Moon of Silence/香港)
現在 石川県金沢市在住

田中 陽子 (たなか・ようこ)

〈制作コメント〉

私はここ最近、花から着想を得て作品制作をしています。自分自身、植物、特に花が好きということもありますが、花を介して明かされる人の心に興味があります。なぜ人は花を愛で、花に思いを託し、花を飾るのか。私はこの関係性に興味を持ち、陶に昇華させることで探求したいと思っています。



陶歴

1992年 金沢市(石川県)に生まれる
2014年 2014京展 館長奨励賞
2016年 第72回金沢市工芸展 北陸放送社長賞
現在形の陶芸萩大賞展IV 岩国美術館賞
2017年 金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科陶磁コース修了
Art Award Marunouchi 2017 審査員(高橋明也)賞
2018年 第74回金沢市工芸展 金沢美術工芸大学学長賞
2019年 TAGBOAT AWARD (小山登美夫)賞
アートフェア東京(東京国際フォーラム)
KOGEI Art Fair Kanazawa 2019 (The share Hotels Kumu 金沢/石川)
2020年 金沢卯辰山工芸工房修了
金沢卯辰山工芸工房 工房賞
個展「田中陽子展—霜月の華—」(atelier&gallery creava/石川)
2021年 笠間陶芸大賞展 大賞
個展「田中陽子展」(ギャラリーつかもと/栃木)
現在 茨城県石岡市在住

村田 彩 (むらた・あや)

〈制作コメント〉

「生命力」が私の作品のテーマです。私達が自然と呼ぶ世界の根源には、あらゆる形の生命の力があります。それは生存競争の激しい過酷な環境下で芽や毒をもち、あるいは美しく擬態をしては生き延びようとしています。その生命の過酷さや美しさを、「練込」という技法を用いて表現しています。色土で作った模様自体がその形に沿って動くので、流動的で、その造形と一体化する感覚を表現するのに適していると考え、それを用いています。



photo: 鈴木由依

陶歴

1979年 京都市(京都府)に生まれる
2000年 京都芸術短期大学陶芸科卒業
2004年 京都府立陶工高等技術専門校成形成科修了
2010年 国立台南芸術大学招待作家として滞在制作(台湾)
アーティスト・イン・レジデンス(滋賀県立陶芸の森)
2011年 個展「深海植物」(新北市立鶯歌陶瓷博物館/台湾)
アーティスト・イン・レジデンス(新北市立鶯歌陶瓷博物館/台湾)
2012年 個展「陶—彩の庭」(INAXガレリアセラミカ/東京)
「ふしぎ! たのしい! ゲンダイトーゲイ」(茨城県陶芸美術館)
2013年 「新時代の「やきもの」への挑戦! あれもやきもの これもやきもの陶芸の森 アーティスト・イン・レジデンス20年の歩み」(滋賀県立陶芸の森)
2014年 「現代・陶芸現象」(茨城県陶芸美術館)
アーティスト・イン・レジデンス(Ariche Bray Foundation/アメリカ)
2017年 アーティスト・イン・レジデンス(Guldagergaard/デンマーク)
2018年 京都新鋭選抜展 京都新聞賞
Arctic Ceramic Center Symposium (フィンランド)
現在 京都府綴喜郡在住